

平成24年行政事業レビューシート (復興庁、厚生労働省)

事業名	新卒者等に対する就職支援(復興関連事業)		担当部局庁	復興庁/厚生労働省職業安定局 派遣・有期労働対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	予算会計班/企画課 若年者雇用対策室		統括官付参事官 尾関良夫(復) 若年者雇用対策室長 久知良俊二(厚)		
会計区分	一般会計・労働保険特別会計雇用勘定 ・東日本大震災復興特別会計		施策名	Ⅱ-1-3 高齢者・障害者・若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る				
根拠法令(具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号		関係する計画、通知等	新成長戦略、緊急経済対策、緊急雇用対策				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災地域の新規学校卒業者等の就職支援を強化する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	震災の影響を受けた地域を中心に重点的にジョブサポーターを配置し、学校との連携を強化しつつ新卒者等の支援を行うこととする。また、首都圏等で被災新卒者等を積極的に採用する求人の開拓を行うとともに、就職面接機会の継続的な提供を行える体制を整備し、各種就職面接会を実施する。 (※平成24年度は、一部の予算を復興庁へ計上。厚生労働省において執行。)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算			1,688(厚生労働省計上)			
		繰越し等						
		計			1,688	888	416	
	執行額			432				
	執行率(%)			25.6				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	目標値(24年度)
	① 新卒応援ハローワークの就職者数(23年度:53,000人) ※被災新卒者支援については、被災新卒者以外の支援と区別しているものではないため、復興分のみを把握することは困難。レビュー番号705と同様の実績を記載している。		成果実績	人	-	-	74,882	61,000
			達成度	%	-	-	141	
	② 学卒ジョブサポーターの就職者数(23年度:104,000人) ※被災新卒者支援については、被災新卒者以外の支援と区別しているものではないため、復興分のみを把握することは困難。レビュー番号705と同様の実績を記載している。		成果実績	人	-	-	163,133	124,000
		達成度	%	-	-	157		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	活動見込
	新卒応援ハローワークの来所者数(23年度:339,000人) ※被災新卒者支援については、被災新卒者以外の支援と区別しているものではないため、復興分のみを把握することは困難。レビュー番号705と同様の実績を記載している。		活動実績(当初見込み)	件	-	-	545,000	-
						339,000	(545,000)	
単位当たりコスト	① 132,942(円/人) ② 61,024(円/人)		算出根拠	① 9,955百万円(平成23年度執行額)÷74,882人(平成23年度における就職者数実績) ② 9,955百万円(平成23年度執行額)÷163,133人(平成23年度における就職者数実績) ※被災新卒者等支援については、被災新卒者等以外の新卒者等支援と区別しているものではないため、復興分のみを把握することは困難。そのため、単位当たりコストを算出するに当たり、被災新卒者等に係るコストと被災新卒者以外の新卒者等に係るコストの合計額を用いている。				
平成24・25年度予算内	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	学卒ジョブサポーターの配置	816 (復興庁分408)	391 (復興庁分195)	被災地の就職状況等を踏まえた、ジョブサポーターの配置に関する予算額の減。				
	各種就職面接会の実施	72 (復興庁分36)	25 (復興庁分12)					

訳	計	888	416
---	---	-----	-----

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国の社会・経済を担うべき新規学校卒業者を就職させることは極めて重要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国による就職支援は、学校、民間等による支援では不十分な部分(支援者層、支援時期等)を担っており、適切である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	就職面接会に派遣すべき臨床心理士の確保が困難であったことにより当初見込みよりも活動実績が下回ったこと等による
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	民間委託については原則として一般競争入札により調達している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	国による就職支援は、学校、民間等による支援では不十分な部分(支援対象、支援時期等)を担っており、過剰な支出は行っていない。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	我が国の社会・経済を担うべき新規学校卒業者に対して、無料の職業紹介を初めとする支援を行っている。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国による就職支援は、学校、民間等による支援では不十分な部分(支援対象、支援時期等)を担っており、成果実績等が目標を上回っていることから実効性の高い事業となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	新規学卒者を巡る就職状況は依然として厳しい中で、一定程度の実績を上げられている。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	新規学卒者を巡る就職状況は依然として厳しい中で、一定程度の実績を上げられている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	新卒応援ハローワークに対する認識は着実に高まっている。
点検結果	上記点検結果を踏まえ、引き続き、被災新規学校卒業者等に対する就職支援を着実に推進していく。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	新卒者等に対する就職支援(復興関連事業)は、執行状況を予算要求に反映すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	ハローワークに配置される学卒ジョブサポーターの人数について、被災地の就職環境等を踏まえ、見直しを行うこととする。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	799、「復興-22」、「復興26」

※平成23年度実績を記入

国

厚生労働省
432百万円

【予算示達】

A: 都道府県労働局
432百万円
〔 ジョブサポーターの配置
就職面接会の開催等
新卒応援ハローワークの設置・運営 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
相談員経費	学卒ジョブサポーターの配置	282			
事業費	就職面接会の開催等	137			
管理経費	新卒応援ハローワークの設置・運営	13			
計		432	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0